別紙企画イメージ
昭和の町トレーディングカード

基本ルール
豊後高田市昭和の町商店街の店主さんカードを作ります
カードにはそれぞれじゃんけんのグー、チョキ、パーの要素を組み込み
カードを使ってのじゃんけんができるようにします。
「昭和の町で、じゃん・けん・ぽん！」でじゃんけんを楽しんでもらいます

カードイメージ



そのうえで裏面のような追加ゲームを考えていきます

1. 昭和の町じゃんけんカード特別編
使うもの： 店主さんじゃんけんカード（自由に選びます）　6 枚
人数： 2 人
準備：おたがい自由に 6 枚ずつカードを用意する。これが「手札（てふだ)」となります。
　　始める前にじゃんけんで先攻・後攻を決めます。

あそびかた：
①　手札のカード 3 枚だけ相手に見せる！
手札の 6 枚のカードの中から、好きな 3 枚をえらんで、相手に見せます。
見せおわったら、手札にもどして、どれがどれかわからないようにしましょう。

② まずは 1 枚、うらむきにセット！
手札からカードを 1 枚えらんで、うらむきのまま場に出します。

③ ドキドキのおしゃべりタイム！（★ここがポイント！）
カードをあける前に、おたがいにおしゃべりをして相手の心を探ります。
「ぼくが今出したのは、グーだよ！」「さっきパーを見せてたから、それパーじゃないの？」
うそをついて相手をだましてもいいし、ほんとのことを言ってビックリさせても OK！
※おしゃべりタイムはあらかじめ時間を決めておくのも OK

④　コールタイム！（「カードはそのまま？」それとも「手札とチェンジ？」）
おしゃべりが終わったら、場に出したカードを「手札のカードと変える（チェンジ)」か、「変えない（キープ)」
かを 1 人ずつ順番に宣言します。
例：先攻：「『チェンジ』！（場に出したカードを手札と入れ替える)」
　　後攻：「『キープ』！」（場にだしたカードはそのまま）
※コールは 1 回だけです。先攻と後攻の順番は、勝負ごとに毎回交代します
※後攻の人は 1. 2 言喋って相手の顔を伺っても OK（先行は黙っていてもいいし、答えてもいいよ）

⑤ いざ、じゃんけん！
2 人のカードが決まったら、元気よく声を合わせましょう！
「昭和の町で、じゃん・けん・ぽん！」
かけ声といっしょに、カードを表（おもて）にします。
じゃんけんに勝った人が勝利となります。
※あいこになった場合は、次の勝負で勝った人があいこのときも勝ったこととします。
　だから、あいこの後のじゃんけんはとっても重要です！
※勝負が終わったカードは、表向きにして自分の横に並べましょう（手札には戻さない）

⑥　5 回しょうぶ！
②〜⑤を、5 回 くりかえします。（カードは 1 枚残ります）
※最終戦であいこになった場合は、手札の残った最後カードで勝敗を決めます。
-勝敗-
5 回じゃんけんをして、多く勝った人の勝利です！

2.1 の応用編

『ピストルカードとびっちょバリアカード』の追加

通常の 3 すくみに 2 つの特殊属性を加えて心理戦をもっとたのしめるようにします。

「ピストルカード」: グー・チョキ・パーの全てに勝利する万能カード。

「びっちょバリアカード」: グー・チョキ・パーの全てに敗北するが、「ピストルカード」には勝利するカード。

以下の表は、この 5 すくみの勝敗マトリクスを整理したものである。

※ピストルカードとびっちょバリアカードは 1 枚ずつしか手札に入れられない。

自分のカード ＼ 相手のカード	グー	チョキ	パー	ピストル	びっちょバリア
グー	あいこ	かち	まけ	まけ	かち
チョキ	まけ	あいこ	かち	まけ	かち
パー	かち	まけ	あいこ	まけ	かち
ピストル	かち	かち	かち	あいこ	まけ
びっちょバリア	まけ	まけ	まけ	かち	あいこ